

旭川歯科医師会便り

Vol.8

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

歯周病

⑤

「歯周病の治療法」

るかによって変わります。歯周病の自覚症状を感じたら、すぐ歯科医院を受診します。また、自覚症状が無くても定期的な検診を受けることが大切です。

【治療の第一歩は口の中の情報集め】

他の病気と同じく、歯周病もまずいろいろな検査をして情報を集め、その情報に基づいて治療の計画が立てられます。更に、治療の節目節目にも必要に応じて検査が行われます。

検査には、エックス線撮影、ポケット測定（器具を使い、歯周ポケットの深さを測る。深い程歯周病が進行している）、歯や歯肉の状態をカメラで記録（歯肉の色や形を記録し治療前後

に比較する）、口の汚れ具合のチェックなどがあります。

また、グラグラする歯を固定したり、咬み合せを調整したりします。どうしても助けられない歯は、抜くこともあります。歯石を取り除くこと、口の機能を回復させること、患者さん自身で健康を管理出来ることなどを目的と

いたっては、何回かに分けて行いますが、同じ部位

にあたつては、どうも治りません。主治医とよく相談してみて下さい。

【歯周外科手術】

【歯周病治療の最近の話題】

初期基本治療で治りきらなかつたところは、歯周外科手術で治す場合があります。

上の奥歯が無いと、アルツハイマー型痴呆になりやすいと報告があります。

正しい歯磨きの仕方を身に付けるように、歯科医師・歯科衛生士が共に考えています。

歯周病に罹患していると、低出生体重児の生まれ確立が約7倍以上になることがあります。

今回は、歯周病の最終回として治療法について、お伝えします。

歯周病は患者さんと歯科医師・歯科衛生士が協力しあつて治していく病気です。口の中から歯周病の原因を取り除くことだけで無く、患者さんが自分の口の中と全身の健康を保つ能力を獲得し、それを一生続けることができます。

治療の内容や期間は、歯周病がどのくらい進んでい

ます。

治療計画がたてられ、初期基本治療に入ります。初期基本治療は歯周病の原因を取り除くこと、口の機能を回復させること、患者さん自身で健康を管理出来るようになります。

まず、患者さん自身によるブラークコントロールです。いくら高度な外科処置などの治療をしてもブラークコントロールがきちんと行われていないとすぐに歯周病が再発してしまいます。

なかつたところは、歯周外科手術で治す場合があります。病気の部分がよく見えるように歯肉を切つて開いて歯槽骨からはがし、歯の根の間や深いところに入り込んでいる歯石や病気の部分を取り除きます。他にもいろいろな手術があります。

石を取った後、歯周病菌が住みついている部分に先の細いシリンジで抗生素質を送り込み、直接投与する方法を補助的に行うこともあります。

また、最近では自費診療ですが、特殊な材料を使つて失われた歯周組織を再生させる治療法も行われるようになります。しかし、適応症が限られており、どんな歯周病でも治療出来るわけではありません。しかし、

歯周病はこの方法でも治りません。主治医とよく相談してみて下さい。